様式第一号（第二条関係）　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙Ａ４）

0 0 0 0 1

新規で土木、とび･土工、造園工事業の一般建設業の知事許可で申請する場合の記載例

建設業許可申請書

この申請書により、建設業の許可を申請します。
この申請書及び添付書類の記載事項は、事実に相違ありません。

令和　　年　　月　　日

申請者の押印は不要。
行政書士による代理申請の場合は、行政書士の押印が必要。

不要なものを消す。

「登記上の所在地」と「事実上の所在地」が異なる場合は二段書きする。

~~地方整備局長~~
~~北海道開発局長~~
青森県　知事　　殿

青森県青森市長島１－１－１
青森土木　株式会社
申請者　代表取締役　青森太郎

枠内は記入しないこと。

行政庁側記入欄

項番			
許可番号	01	大臣／知事 コード：☐☐	国土交通大臣／知事 許可（般／特－☐☐）第☐☐☐☐☐☐号　許可年月日：令和☐☐年☐☐月☐☐日
申請の区分	02	☐	（1.新規　2.許可換え新規　3.般・特新規　4.業種追加　5.更新　6.般・特新規＋業種追加　7.般・特新規＋更新　8.業種追加＋更新　9.般・特新規＋業種追加＋更新）
許可の有効期間の調整		2	（1．する　2．しない）
申請年月日	03		令和☐☐年☐☐月☐☐日

新規は「2」を記入する。
今回の申請と併せて、すでに受けている建設業の全部を更新し、許可日を一つにまとめる場合は「1」、それ以外は「2」を記入する。

申請する業種を、一般建設業は「1」、特定建設業は「2」で記入する。

	土	建	大	左	と	石	屋	電	管	タ	鋼	筋	舗	しゅ	板	ガ	塗	防	内	機	絶	通	園	井	具	水	消	清	解
04 許可を受けようとする建設業	1				1																		1						
05 申請時において既に許可を受けている建設業																													

（1．一般　2．特定）

更新、業種追加、般特新規のとき、申請時に有効な許可業種を記入する。
新規の場合は空欄。

項番		
06	商号又は名称のフリガナ	アオモリドボク
07	商号又は名称	青森土木（株）
08	代表者又は個人の氏名のフリガナ	アオモリ　タロウ
09	代表者又は個人の氏名	青森太郎
	支配人の氏名	
10	主たる営業所の所在地市区町村コード	02201
	都道府県名	青森県
	市区町村名	青森市
11	主たる営業所の所在地	長島1－1－1
12	郵便番号	030－8570
	電話番号	017－722－1111
	ファックス番号	

濁音、半濁音も含んで1文字とする。
（項番08も同様）

法人の種類は略号で記入する。
（略号のフリガナは不要）

法人は商号を、個人は名称を記入する。
（商号の字体は登記事項証明書による）

姓と名の間は1マス空ける。（代表者名の字体は登記事項証明書、個人の氏名は住民票による）

個人の場合で支配人を選任し、登記している場合のみ記入する。

02は青森県を意味し、後ろ3桁に市町村コードを記入する。

登記と事実上の所在地が異なる場合「事実上の所在地」を記入する。
市町村名より後の丁目、番、号は－（ハイフン）を用いて記入する。
例）「1丁目1番地1号」は「1－1－1」と記入

個人の場合は記入不要。

忘れずに記入する。
個人の場合は記入不要。

項番			
13	法人又は個人の別	1	（1. 法人　2. 個人）
	資本金額又は出資総額	10,000	（千円）
	法人番号	1234567891234	
14	兼業の有無	1	（1．有　2．無）
	建設業以外に行つている営業の種類	宅建建物取引業	

兼業がある場合は具体的に記入する。

項番			
15	許可換えの区分	☐	（1．大臣許可→知事許可　2．知事許可→大臣許可　3．知事許可→他の知事許可）
16	旧許可番号	大臣／知事 コード：☐☐	国土交通大臣／知事 許可（般／特－☐☐）第☐☐☐☐☐☐号　旧許可年月日：令和☐☐年☐☐月☐☐日

許可替え新規の場合のみ記入する。
許可日が複数ある場合は最も古い許可日を記入する。

役員等、営業所及び営業所に置く専任の技術者については別紙による。

連絡先

連絡、照会のため、必ず記入する。

所属等＿＿＿＿　氏名＿＿＿＿　電話番号＿＿＿＿
ファックス番号＿＿＿＿